

恩師から「考える楽しさ」



滋賀大学学長 位田 隆一さん(71)＝1966年卒



＝梅田麻衣子撮影

位田・りゅういち 1948年生まれ。京都大学法学部卒、同大学院法学研究科修士課程修了、同博士課程中退、フランスパリ第2大学高等研究課程修了。ユネスコ国際生命倫理委員会委員長、文部科学省研究振興局科学官など歴任。2016年から滋賀大学学長。

「入試対策」とは違い、歴史上の「ストーリー」

社会の大槻守先生も「入試対策」とは違い、歴史上の「ストーリー」

姫路西高校

＝兵庫県姫路市

■料理店の後継者
実家は姫路城近くで料理店を営んでいた。祖父が始めた店を「きょうろ」が目として引き継ぐのだから」と思い、大学は「ユネスコ国際生命倫理委

員会委員長を務めるまでに。世界へ道が開けたのも「西高で自分で考え抜き、知的な楽しみを見いだすことが根底にあった」。

わたしの母校

姫路城を眺めながら育った位田隆一さん(71)は現在、彦根城すぐそばの滋賀大学で学長を務める。兵庫県立姫路西高校では恩師らから「考える楽しさ」を教わった。今でも学生たちに「入生で必ずチャンスはある。そのチャンスをつかみ取るには、自分で考える力が必要」と伝えている。

【前本麻有】



火
ふるさと

水
カルチャー

木
ちよい旅

金
見・聞・楽

土
学ぶ・育つ・挑む

たにも、夏休みまでコンクールの練習に励んだ。課題曲を楽譜通りのテンポではなく、あえてゆっくり歌う工夫をした。すると、本番では客席から「遅い」「遅いんしゃない」との声。それでも自分たちのテンポで、ハーモニーを乱さず歌いきった。県の大会で3位に相当する「優良賞」に輝いた。

■ストーリーを知る

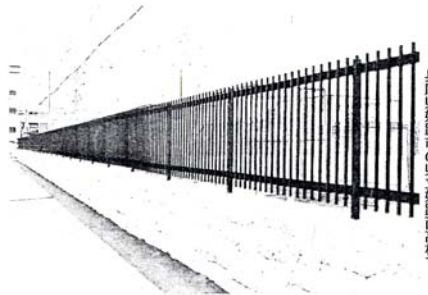
「考える楽しさ」を教

この見方、考え方は大。学進学後にも役立つ。例えば、ある条約や条文について、日本だとその中身を細かく解釈しようとする。だが、フランス留学時に出会ったシャルル・ショーモン先生は、その条約ができるまでの政治・経済的な背景、条

城をイメージ 塀整備

姫路西高の運動場東側の塀は、姫路城の石垣をイメージしている。これまではブロック塀で老朽化が進んでいたが、2018年11月の「創立140周年記念式典」での披露を目標に、「築城プラン」として整備が進められた。総事業費2800万円が卒業生たちによる寄付でまかなわれた。愛校心の結晶でもある。

校舎自体も創立130周年の2008年に姫路城をモチーフにしたデザインで建て替えられた。正門の塀も同時に姫路城の石垣風になっている。



姫路城の石垣をイメージして整備された運動場を囲む塀
＝兵庫県姫路市の県立姫路西高校で